

林業技術センター
普及班便り
(第37回)

いわての林業人16

一 はじめに

今月の普及班便りでは、平成21年度岩手県林業経営推奨行事で表彰を受けた、佐々木裕一さんと、台山生産森林組合をご紹介します。

【最優秀賞】佐々木裕一さん（釜石市）

(1) 経営目標

優良な大径材の生産を目標として、保育作業（枝打ち・つる切り・枯れ枝落し等）を徹底的に実施して



佐々木裕一氏

います。

(2) 経営の特徴

所有山林の一部を長伐期林として経営しており、伐期前にも生産間伐を実施して、森林整備を進めつつ、収入を得ています。また、経営林のブロック分けによる法正林化や、森林組合との長期施業受託契約などにより、計画的な森林整備を行なっています。技術の向上にも強い意欲を持ち、簡易で効果的な枯れ枝落し方法（竹竿で枝の付け根を下から叩く）を考案し、実践しています。この結果、経営林のほとんどで枝打ちが適正になされた状態となり、間伐の実施と併せ、トビクサレの被害率が減少したとのことでした。

(3) 地域への貢献

市役所農林課へ勤務した経験を活かして、地区の森林組合員総代として施業地の取りまとめに尽力し、施業地の集約化による作業コストの低減に貢献しています。また、林の一部を展示林として公開し、近隣の森林所有者への普及啓発を実施しています。

(4) 山へのこだわり

先代から経営を引き継いだ後、自ら山に足を運び、少しずつツル切り、枝打ちをすることで、「山が生き返った」様に感じたそうです。この経験

から、「自分が行って気持ち良く、清々しく感じる山」を目指し、山づくりをしています。

【優秀賞】台山生産森林組合（花巻市）

(1) 経営目標

森林の適切かつ継続的な管理により、地域の水源確保や豊かな自然環境の保全に貢献しつつ、将来の生産間伐に備えることを目標としています。

(2) 経営の特徴

所有山林は花巻市の水源地域に位置し、その全域が水源かん養保安林に指定されています。経営区域が広大なので、組合の管理能力を超える部分は分収林として経営するなど、他資本を活用した合理的な経営を行っています。作業は森林組合に委託し、広葉樹植栽や保育間伐を積極的にこなしています。また、補助事業の活用により高規格な作業路を約3km開設し、作業と管理の効率化を図っています。

(3) 経営安定化への努力

組合長や理事の方々が、日頃から組合活動に率先して取り組んでおり、



台山生産森林組合の山

高い経営意識と実践が伴っている点
が、高く評価されました。

おわりに

受賞された方々におかれましては、たいへんおめでとうございます。なお、佐々木裕一さんについては、全国林業経営推奨行事へ推薦させて頂きました。

林業技術センター普及班

019(698)1337